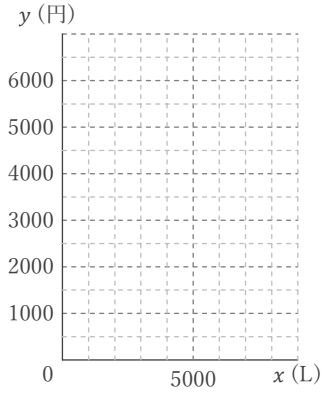
1次関数の利用

年　組　名前

/ 4

■ 次の各問いに答えなさい。

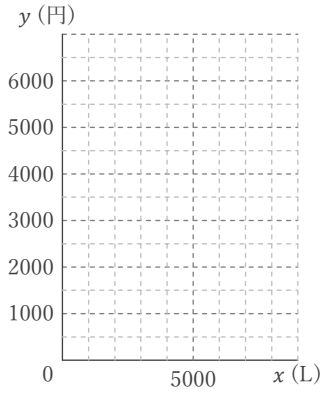
① ある市の水道料金は、水の使用量に関係なくかかる1500円 の基本料金と、水の使用量に比例してかかる使用料金の合計で計算され、3000L の水を使用した時の水道料金は 2000円 であった。使用した水の量を x L、そのときの水道料金を y円 とするとき、x と y の関係を 1次関数 のグラフと式で表しなさい。また、水道料金が 4100円 のときの水の使用量を求めなさい。



式(1次関数)

水道料金が 4100円 のとき
L

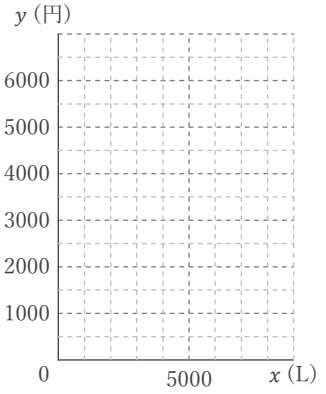
② ある市の水道料金は、水の使用量に関係なくかかる3000円 の基本料金と、水の使用量に比例してかかる使用料金の合計で計算され、8000L の水を使用した時の水道料金は 6000円 であった。使用した水の量を x L、そのときの水道料金を y円 とするとき、x と y の関係を 1次関数 のグラフと式で表しなさい。また、水道料金が 10500円 のときの水の使用量を求めなさい。



式(1次関数)

水道料金が 10500円 のとき
L

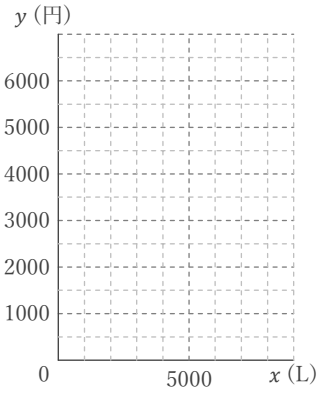
③ ある市の水道料金は、水の使用量に関係なくかかる2000円 の基本料金と、水の使用量に比例してかかる使用料金の合計で計算され、8000L の水を使用した時の水道料金は 3000円 であった。使用した水の量を x L、そのときの水道料金を y円 とするとき、x と y の関係を 1次関数 のグラフと式で表しなさい。また、水道料金が 4000円 のときの水の使用量を求めなさい。



式(1次関数)

水道料金が 4000円 のとき
L

④ ある市の水道料金は、水の使用量に関係なくかかる1000円 の基本料金と、水の使用量に比例してかかる使用料金の合計で計算され、2000L の水を使用した時の水道料金は 1500円 であった。使用した水の量を x L、そのときの水道料金を y円 とするとき、x と y の関係を 1次関数 のグラフと式で表しなさい。また、水道料金が 4700円 のときの水の使用量を求めなさい。



式(1次関数)

水道料金が 4700円 のとき
L

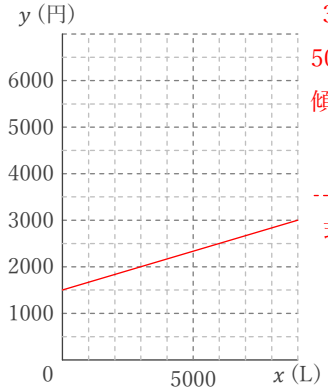
1次関数の利用

年　組　名前

/ 4

■ 次の各問いに答えなさい。

① ある市の水道料金は、水の使用量に関係なくかかる1500円 の基本料金と、水の使用量に比例してかかる使用料金の合計で計算され、3000L の水を使用した時の水道料金は 2000円 であった。使用した水の量を x L、そのときの水道料金を y円 とするとき、x と y の関係を 1次関数 のグラフと式で表しなさい。また、水道料金が 4100円 のときの水の使用量を求めなさい。



3000L で基本料金よりも
500円 増えているので、
傾き a の値は

$$a = \frac{500}{3000} = \frac{1}{6}$$

式に $y=4100$ を代入して

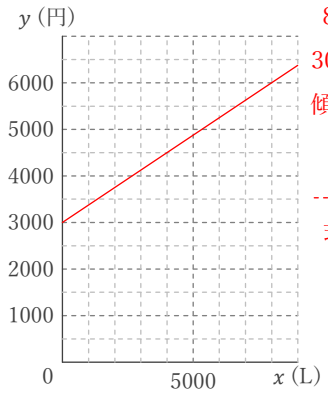
$$4100 = \frac{1}{6}x + 1500$$

$$x = 15600$$

式(1次関数) $y = \frac{1}{6}x + 1500$

水道料金が 4100円 のとき 15600 L

② ある市の水道料金は、水の使用量に関係なくかかる3000円 の基本料金と、水の使用量に比例してかかる使用料金の合計で計算され、8000L の水を使用した時の水道料金は 6000円 であった。使用した水の量を x L、そのときの水道料金を y円 とするとき、x と y の関係を 1次関数 のグラフと式で表しなさい。また、水道料金が 10500円 のときの水の使用量を求めなさい。



8000L で基本料金よりも
3000円 増えているので、
傾き a の値は

$$a = \frac{3000}{8000} = \frac{3}{8}$$

式に $y=10500$ を代入して

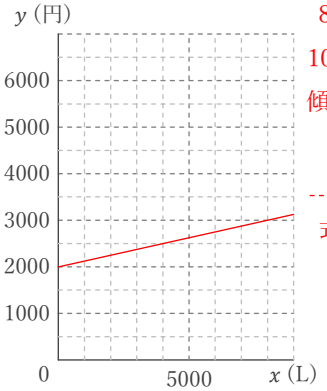
$$10500 = \frac{3}{8}x + 3000$$

$$x = 20000$$

式(1次関数) $y = \frac{3}{8}x + 3000$

水道料金が 10500円 のとき 20000 L

③ ある市の水道料金は、水の使用量に関係なくかかる2000円 の基本料金と、水の使用量に比例してかかる使用料金の合計で計算され、8000L の水を使用した時の水道料金は 3000円 であった。使用した水の量を x L、そのときの水道料金を y円 とするとき、x と y の関係を 1次関数 のグラフと式で表しなさい。また、水道料金が 4000円 のときの水の使用量を求めなさい。



8000L で基本料金よりも
1000円 増えているので、
傾き a の値は

$$a = \frac{1000}{8000} = \frac{1}{8}$$

式に $y=4000$ を代入して

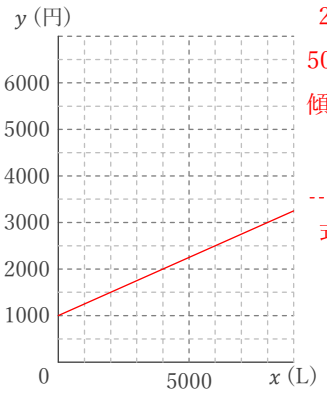
$$4000 = \frac{1}{8}x + 2000$$

$$x = 16000$$

式(1次関数) $y = \frac{1}{8}x + 2000$

水道料金が 4000円 のとき 16000 L

④ ある市の水道料金は、水の使用量に関係なくかかる1000円 の基本料金と、水の使用量に比例してかかる使用料金の合計で計算され、2000L の水を使用した時の水道料金は 1500円 であった。使用した水の量を x L、そのときの水道料金を y円 とするとき、x と y の関係を 1次関数 のグラフと式で表しなさい。また、水道料金が 4700円 のときの水の使用量を求めなさい。



2000L で基本料金よりも
500円 増えているので、
傾き a の値は

$$a = \frac{500}{2000} = \frac{1}{4}$$

式に $y=4700$ を代入して

$$4700 = \frac{1}{4}x + 1000$$

$$x = 14800$$

式(1次関数) $y = \frac{1}{4}x + 1000$

水道料金が 4700円 のとき 14800 L